

秋田県立大曲高等学校 中期ビジョン（5か年計画）

本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

① 学校の現状や課題

本校は本年度（平成30年度）、創立110周年を迎える伝統校であると同時に、地域の拠点校であり、進学校である。昨年度（平成29年度）から、普通科4学級、商業科1学級の2学科5学級の募集となっている。毎年、卒業生の約9割が進学し、1割弱が就職している。伝統校・拠点校・進学校として、地元から、大きな期待をかけられていることを深く自覚し、その期待に応えていくことが責務であると認識している。また、「文武両道」を実践して部活動での成果も挙げてきていることから、この良き伝統を守ることも一つの責務ととらえている。

人材育成と進路実現を、最も大きな課題として受け止め、その達成を目標として日々の教育活動の充実に取り組んでいる。

② 学校を取り巻く将来の状況の予測

激しく変化する社会経済情勢に対応することが求められている。中学校卒業者の動向では、大仙地域から他地域へ進学する成績上位者の数は今後も変わらないと思われる。中学校卒業生数の減少という問題では、本校でも学級減という形で影響が出ており、進路指導や部活動のあり方など、多方面に今後影響が出ることが予想される。一方で、本校卒業生の長年にわたる地元定着率の高さが効を奏し、若く優秀な人材の育成に対する地域の期待は依然として高い。

③ 目指す方向性や学校像

自らを律した生活の中で、目標に向かって努力を怠らず、主体的に考えて行動し、将来的に地域に貢献できる人材を育成する。このため、キャリア教育の観点を基軸としながら、更なる学力向上、部活動及び特別活動の活性化等を実践し、自己実現を目指していく人材の育成を一層推進していく。

④ 5年間で達成を目指す具体的目標

- 地域・学校に誇りを持ち、充実した学校生活を送る自律した生徒を育成する。
- 社会規範を身に付け、礼儀をわきまえ、適切な言動ができる生徒を育成する。
- 自らの進路志望を諦めずに達成しようと努力する生徒を育成する。
- 普通科においては、国公立大学への進学志望達成率70パーセントを目標とする。
- 商業科においては、上級資格取得者・検定合格者率80パーセントを目標とし、進学・就職希望者ともに、高い進路目標の達成を目指す。
- 文武両道を実践し、全国大会で活躍する生徒を多数輩出する。

具体的な取組等

- 1 地域・学校に誇りを持ち、充実した学校生活を送る自律した生徒を育成する。
 - ①地域との交流
 - ・地域行事等への積極的な参加
 - ・ボランティア活動の実施
 - ②自律した生徒の育成
 - ・主体的、積極的に行動する場面の設定

- 2 社会規範を身に付け、礼儀をわきまえ、適切な言動ができる生徒を育成する。
 - ①あいさつの励行等
 - ・校内外での元気なあいさつ、清々しい整容、美しい言葉遣い
 - ・登下校時のマナーアップ
 - ②規範意識の醸成
 - ・高い情報モラルの育成

- 3 自らの進路志望を達成しようと果敢に努力する生徒を育成する。
(国公立大学進学志望達成率70%、上級資格取得者・検定合格者率80%)
 - ①教科における授業改善の取組
 - ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
 - ・研究協議会や職員研修
 - ・生徒による授業評価
 - ②生徒理解と学力支援
 - ・計画的かつ継続的な面談や面接
 - ・進路に応じた補習や添削
 - ③中高接続と学年間連携
 - ・ガイダンスやオリエンテーションの充実
 - ④キャリア教育
 - ・インターンシップ・ボランティア活動(2年生全員)
 - ・社会人や先輩による講話
 - ・大学と連携した講座

- 4 文武両道を実践し、全国大会で活躍する生徒を多数輩出する。
 - ①部活動指導
 - ・人間教育に根ざした部活動指導
 - ・指導者研修会等への積極的な参加を通じた、効果的・効率的な部活動指導
 - ・専門的に技術指導を行う外部指導者との連携
 - ②家庭学習時間の確保
 - ・部活動休養日の完全実施
 - ・最終下校時刻の遵守(午後7時)
 - ③部活動の精選
 - ・生徒数の減少に応じた、部活動の精選と集中化